

## 「水軒の浜」面影 現在に

「水軒の浜に松を植える会」(豊田善之会長)は昨年一年かけ和歌山市西浜の旧南海水軒駅東側を整地し、砂浜の姿を掘り起こした。戦前戦後と市民に親しまれた「水軒の浜」の面影を復活させるのが目的で、今年は松の苗木の植樹に乗り出し、松林の復元も図る。同会は「最終的には文化財の水軒堤防を中心にした史跡公園の指定を受け、再び市民に親しまれる場にできれば。多くの人に会を知ってもらい、息の長い活動にしたい」と話している。

### 1年かけ砂浜発掘

水軒浜は、戦前は夏になると、水練学校が開かれ、戦後しばらくは海水浴場や臨海学校の場所として親しまれた。遠浅で水が美しいことから人気を集めたが、一九六四年

埋め立て。現在は、和歌山下津港の一部で、企

業や工場が並ぶ。また、かつての海岸線約一キロに沿って江戸時代に築かれた、県指定文化財の水軒堤防があり、〇二年までは堤防沿いに南海電鉄和歌山港線が走っていた。同会設立のきっかけになったのは〇五年の水軒堤防発掘調査。この調査で、堤防をつくる石垣の技術力の高さが認められ、全国的にも価値の高い文化財と判明した。「国指定の史跡」も視野に入ってきたことから、地元自治会や西浜中学同窓会浜友会、トンガ

現在、力を入れるのが旧南海水軒駅東側の整備だ。一般公共海浜地区、文化財指定地域のため、同会は県の許可を得たうえで、学校の生徒が松の苗木二

百本を植えるのを始め、整地を始めた。しかし、

昨年三月、県が発掘調査した後の砂地に松の苗木を百本植えたのを手始めに、その後、地域をまきこんでの清掃活動「クリーン大作戦」を展開。十一月には、星林高校野球部のメンバーの協力を得るなど、これまで四回にわたり大規模な清掃を行ってきた。

砂が出てきました。近くに住む新井守正さんは「以前からこの辺りが汚くて気になっていたので、会の活動に賛同しました。作業は厳しいが美

しくなることを想像しながら頑張っています」。今年、二月に西浜中

きた。一気にほできないが、これからは市民や行政にもっと関心を持ってもらい、息の長い活動につなげたい」と語る。近く水軒堤防の石垣が一部再現されることが



旧水軒駅東側。会のメンバーが自分たちの力で整地した

## 松の苗木370本近く植樹

の鼻自然クラブのメンバーらが昨年一月、会を設立。水軒堤防を軸に水軒浜と松林の面影を復活させ、一帯を史跡公園にする活動に乗り出した。

同所は数十年間、ほぼ放置されていたため、テレビや冷蔵庫、自転車など廃棄物で足の踏み場もないほど荒れ放題だった。それをメンバーが週二回集まり根気強く清掃。シ

三月には会のメンバーが百七十本を植える計画。中学生には植えた松にクラス名を、会員は名前を入れてもらう予定で、奥津事務局長は「ここに植えた松を自分たちのものと思っ

と欲している。それが地域を大切に思う気持ちになれば」と期待する。同会副会長の中口文数さんは「昔、水軒川が海に流れ出る所で、エビの子どもたちが飛び跳ねる光景をみたことがある。美しかった」と振り返り、「こ

古来より受け継がれてきた雅く姿に心を打たれた。「あんなの、役を勤め上げた。昨年三月に和歌山市民会館で開かれた和歌山雅楽会の定期演奏会で、パトリオーターに当たる主管を務め、雅な音色を響かせた。担当する楽器は龍笛(りゅうてき)で、「和の雰囲気

の音がいい」と魅力を話す。父の政夫さんが同会で活動をしており、幼いころから雅楽に親しんできた。平日の夜や休日

## 和の心 音色に込め

は自宅で東習するくつ真冬と日

「すごい」と感心する。春から高校生。進路は雅楽部のある天理高校をめざす。「将来は父のように雅楽を続け、たくさんの人に魅力を伝えたい。雅楽を愛するDNAは連綿と受け継がれてゆく。

### 雅楽会定演でソロ披露 吐前幸太郎くん(14)

和歌山で輝き始めた平成生まれのタレント星たちを水曜号

同会の奥津尚安事務局長は「何回、トラックで廃棄物を取りに来てもらったか分からない。苦労は進み、浜の面影が出て

決まっております。局長は「最終的にこの辺りが史跡公園になって欲しい。次の世代の人に引き継いでもらえる形をつくりたい」と話している。

問い合わせは同会事務局(073-444-0482、西浜中学校浜友会)。

きょうの紙面より

- 新地域ブランドに「プレミアム和歌山」…2面
- 山口地区のウォーキングマップ作成…3面
- 国際交流まつり 外国人とふれあい…3面
- 元教師 北津。「奥の細道紀行」出版…4-5面
- 求人広告…2面/皆さんコーナー…7面

あなたの街の Kinpla 金・プラチナ 和歌山県下 どの店よりも 高価買取

おかげさまで全国に19店舗  
査定は無料・出張買取OK  
買取価格には自信があります  
金・プラチナ買取センター  
【店頭受付】AM10:00-PM7:00  
和歌山市雑司町57-1 エンドレスビル2F  
（ぶらくり丁ドンキホーデビルの並びです）  
☎073-432-1111  
☎0120-432-818  
http://www.kinpla.co.jp